

再生医療・細胞治療の未来を切り拓く「成長因子代替ペプチド」

ペプチグロース

[PG-002]

TGFβ1阻害ペプチド

30%OFFキャンペーン

ペプチグロース社 TGFβ1 阻害ペプチド 30%OFF キャンペーンを期間限定で実施いたします。
是非この機会にご利用ください！

キャンペーン期間

2025年1月6日(月)～3月31日(月)12時受注分まで

キャンペーン対象商品



TGFβ1阻害ペプチド
Webページはこちら

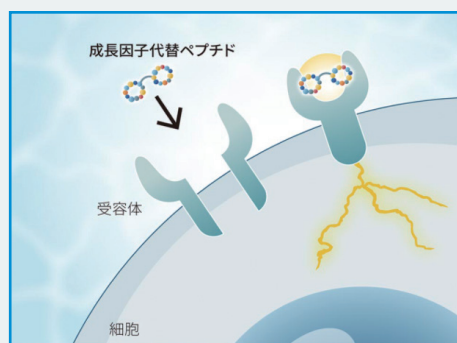
Code No.	品名	包装	通常価格	キャンペーン価格
PG002-0010	TGFβ1 inhibitor (TGFβ1 binding peptide)	10 μg	¥80,000	¥56,000
PG002-0100	TGFβ1 inhibitor (TGFβ1 binding peptide)	100 μg	¥250,000	¥175,000

※表示は税別価格です。

製品情報

ペプチグロース社の成長因子代替ペプチドの特徴

- 完全化学合成の特殊環状ペプチド
- 製造ロット間の品質のばらつきがない
- 生物由来原料不使用
- 完全ゼノフリー培地への組み込みが可能



TGFβ1阻害ペプチド [PG-002] について

既存の低分子阻害剤（キナーゼ阻害剤）は細胞内で作用する必要性や、その特異性に問題があり、中和抗体は高価かつアニマルフリー証明が難しいなどの課題を抱えています。ペプチグロースの「PG-002」は、細胞外でTGFβ1リガンドに結合し、阻害活性を発揮する特殊ペプチドです。完全化学合成で製造されるため、アニマルフリー証明の提供が可能です。

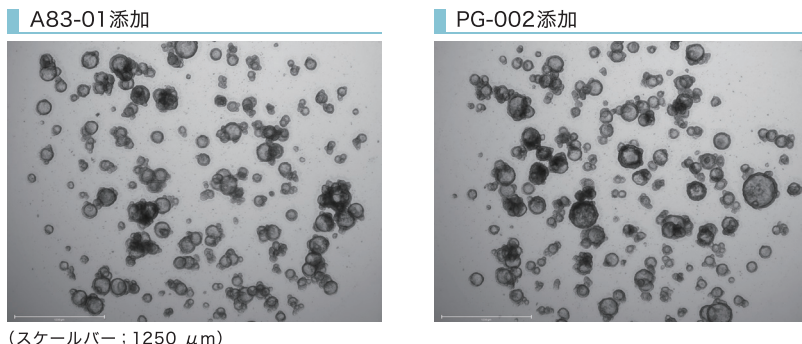


PG-002はTGFβ阻害剤A83-01と同様にヒト胎児由来小腸オルガノイドの培養に使用可能！

ヒト胎児由来の小腸オルガノイド培養において、TGFβ阻害剤A83-01 500 nMまたはPG-002 50 nM添加時の培養7日目のオルガノイドの形態、増殖、細胞マーカーの遺伝子発現をそれぞれ評価しました。

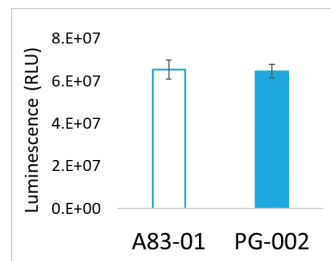
■ オルガノイドの形態

明視野でオルガノイドの形態を観察した結果、A83-01とPG-002の添加培養で差異はなく、PG-002を添加することでA83-01添加時と同様の形態の小腸オルガノイドが形成されることを確認できました。



■ オルガノイドの増殖

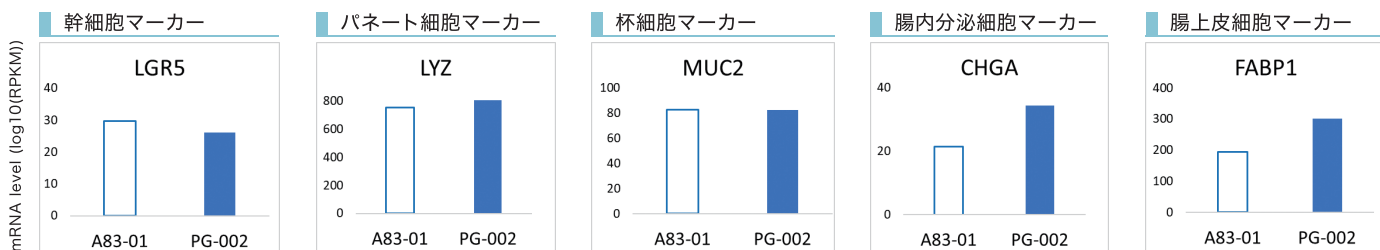
ATPアッセイによりオルガノイドの生細胞数を測定した結果、A83-01とPG-002の添加培養で差異はなく、PG-002はA83-01と同様に小腸オルガノイドを増殖・維持することが確認できました。



■ 細胞マーカーの遺伝子発現解析

小腸オルガノイドは、幹細胞、パネート細胞、杯細胞などの細胞で構成されています。A83-01とPG-002添加培養時の小腸オルガノイドにおける発現細胞を確認するため、各細胞マーカーの遺伝子発現を解析しました。

その結果、A83-01とPG-002の添加培養で幹細胞マーカーおよび各分化細胞マーカーが同様に発現していることが確認できました。



本製品のオルガノイドを用いた研究は、試験研究を目的とした使用のみ認められています。それ以外の目的での利用や転売は禁止されており、試験研究以外を目的とした使用には以下の事例が挙げられます。以下のような事項をご検討される方は、JSR株式会社 知的財産部 (Patent_Kanri@jsr.co.jp) までお問い合わせいただけますようお願いいたします。

【事項】

- ペプチドを利用して培養したオルガノイドを治療・診断・予防等の医療用途での使用する場合。
- ペプチドを利用して培養したオルガノイドの製造・販売または関連サービスを行う場合。
- ペプチドを利用して培養したオルガノイドを標的探索スクリーニング、創薬スクリーニング、薬効・毒性・薬物動態・効能評価試験等のサービスに使用する場合。
- ペプチドを利用して培養したオルガノイドを社内の標的探索スクリーニング、創薬スクリーニング、薬効・毒性・薬物動態・効能評価試験に使用する場合。

本紙記載の製品は研究用です。診断および治療目的には使用いただけません。
記載内容は2024年12月時点の情報です。最新の情報は当社までお問い合わせください。ご使用の際には、データシートをよくお読みください。

Copyright © 2024 MEDICAL & BIOLOGICAL LABORATORIES CO., LTD. All Rights Reserved.

2024.12

156153-24121000